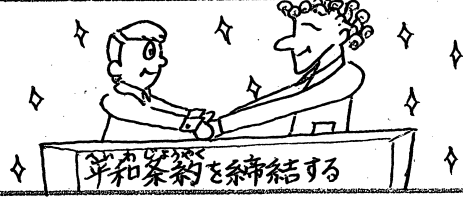


てい けつ
締結



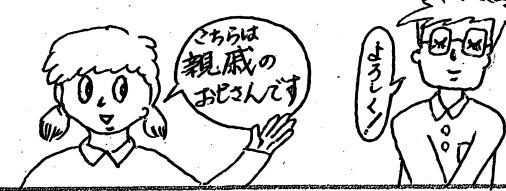
けいやく じやうやく
契約または条約をとりきめること。

し き
締め切り



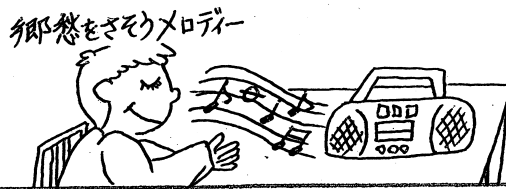
とりあか いちていきかん う
取扱いを一定期間で打ちきめること。

しん せき
親戚



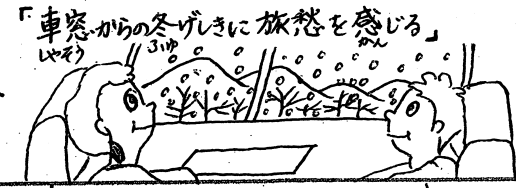
しんぞく しんるい
親族。親類。

きやう しやう
郷愁



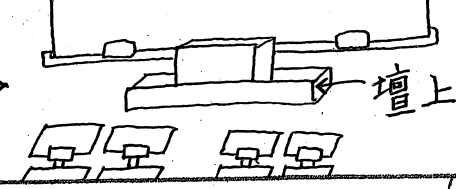
ふるさと おも
故郷をなつかしむ思い。

りや しやう
旅愁



りょこうちゆう かん
旅行中に感ずるものさびしさ。

だん じやう
壇上



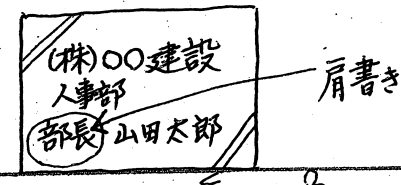
きやうだん えだん うえ
教壇・演壇などの上。

か だん
花壇



くさばな う
草花を植えてあるところ。

かた か
肩書き



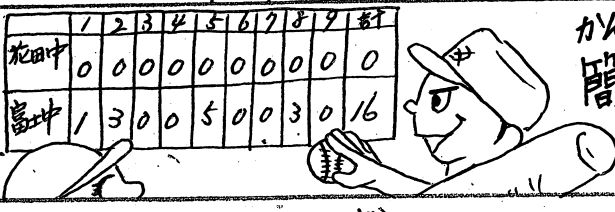
ちい せいぶん しょうごう
地位・身分・称号などをいう。

かた
肩こり



かた
肩がこること。

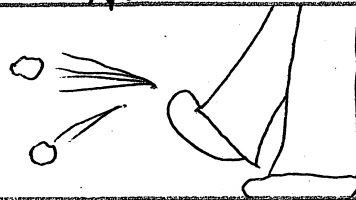
いっ しやう
一蹴



かんたん あいて ま
簡単に相手を負かすこと。

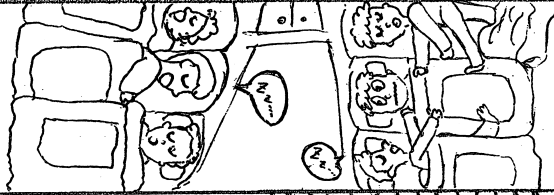
「弱小チームを一蹴する」
いっしやく

いし け
石 蹴り →



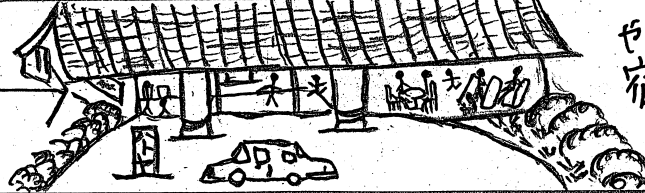
いし け=あし
小石を片足でける。

がい ばく
外 泊 →



よそでとまること。

やど と
宿に泊まる



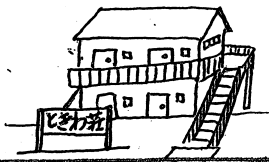
やど
宿にとどまって居る。

そら ざん
壮 厳 →



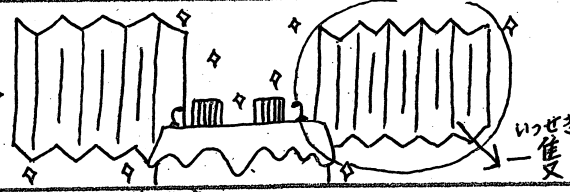
おもおも リっぱ
重々しく立派なこと。

そら ざん
○ ○ 壮 →



べったく
しもやしき。別宅。

いっ せき
一 隻 →



いっ せき
一 隻 又
ついでに 片方を数える
語。特に屏風の片方のと。

すう せき
数 隻 →



すう せき
舟などを数える語。

はち うえ
鉢 植え →



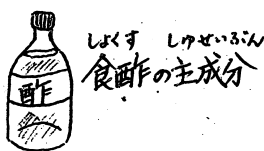
くさき はち うえ
草木を鉢に植える
たもの。

ひ ばち
火 鉢 →



はい い なか すす
灰を入水、中に炭火などを
いれ、暖をとる道具。

さく さん
酢 酸 →



しげきせい しゅうさく さんみ
刺激性の臭気と酸味を
もつ無色の液体。

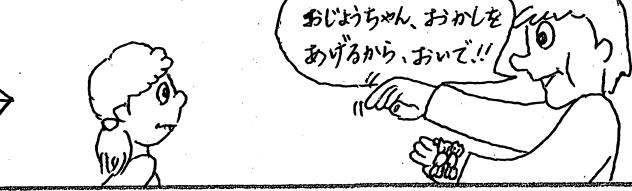
す、もの
酢の物



キャベツとワカメの酢の物

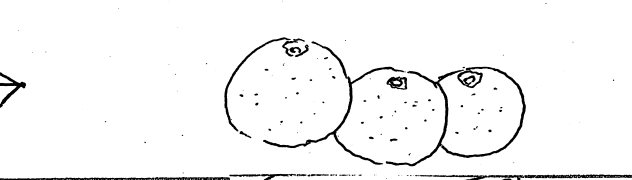
す、ちゅうみ
酢で調味したなます、
あえもの、
和物の類。

かん げん
甘言



あいて き たく
相手の気にいるように巧
ことば
みにいう言葉。

あま なつ
甘夏



なつ いっしゅ
夏みかんの一種。

けん けつ
献血



ゆけつ けつえき ぶじょう
輸血のための血液を無償
ていきょう
で提供すること。

こん だて
献立

8	火	ごはん	ひきの煮物	さばの塩焼き	---
9	水	うどん	ごぼう汁	しらす、みかん	---
10	木	バターロール	ポテト	フルーツ	---

りょうり しゅりい じゅんじょ
料理の種類や順序の
よてい た
予定を立てること。

かい ふう
開封



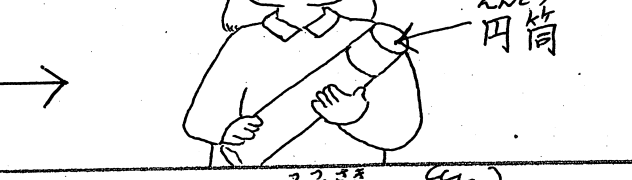
てがみ ふう ふう
手紙の封を開くこと。

ほう けん
封建



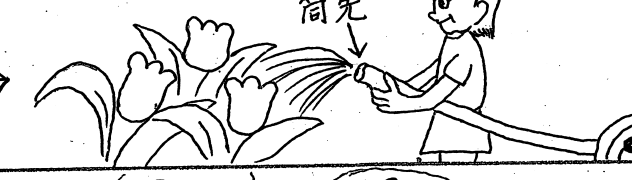
みぶん たちば じょうが ぶせ
身分や立場の上下を重くみて、
こじん けんり じりゆう
個人の権利や自由をおさえつけ
ようとすること。

えん とう
円筒



えんとう
まるい筒。

つつ せんたん
筒先



つつ せんたん
筒の先端。

おろ うれし
卸し売り



せんさんしゃ しょうはん せい
生産者から商品を仕入れて
ニウリヤクせん う めた
小売商人に売り渡すこと。

